

政治の根本的変革をめざす革新懇へ大きく飛躍しよう

枚方革新懇は 七月二四日 第二回代表世話人を開きました。

情勢討議では、『G8 洞爺湖サミットでは、地球温暖化対策も投機マネー規制問題も飢餓と食糧問題も解決の方向を見出しえず、石油高騰による史上初の漁業スト(20万艘一斉休漁)が行なわれるなど自公政治の行き詰りは、大きな国民的怒りとなって広がっている。あの漁業ストに対してなぜ労働戦線が呼応して立ち上がらなかったか 歯がゆい思いだ。』

『橋下維新改革もこれだけあらゆる分野の人が怒っているのに、あの予算になんで民主が迎合するのか悔しい。府民の痛みはこれから加速する。長い闘いになるのではないか。公務員攻撃が根強く浸透しているが、一方でPTA・教組・校長会・35人学級など幅広い共同で105万署名を積み上げ、一定の譲歩をかちとっている。こまめに具体的に知らせることが大切だ。七月五日の府政市民シンポでも具体的な問題がさまざま語られた。』

『与党は、消費税増税増税反対も国民世論を気にしているが、決して諦めていない。

日本共産党八六周年記念講演会はこれに一つの希望を示すものだった。』など

会員拡大の具体化 十月の全国交流会(in 奈良)までに三〇〇人拡大を。地域別の会員をせめて50人にしたい。枚方は革新懇の地域別の組織実体がなくすぐに寝屋川方式を参考にできないがニュースに毎回入会申込書を入れて会員拡大を訴えることは可能ではないか。

団体と世話人会との懇談会も開き、団体内で会員拡大の協力要請をする。

枚方の革新運動をバックアップできるようにならなければならない。ニュースも枚方の記事が載るような工夫が必要。世話人会に枚方の運動の現状が反映されない(団体選出役員の出席が悪い)のをどう改善するかが課題だ。

農業シンポを計画(十一月末か十二月始)します。革新懇が加入団体(農民組合・民商・新婦人・共産党・生協など)によびかけて実行委員会で全体計画案を相談する。